

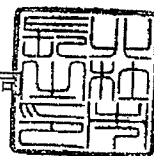
北杜道河第1866号

平成24年 2月 7日

国土交通省関東整備局

甲府河川国道事務所長 様

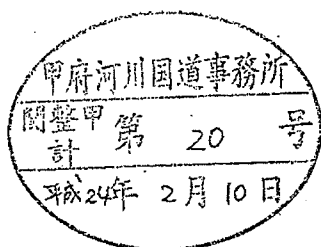
北杜市長 白倉 政司



社会資本整備審議会道路分科会関東地方小委員会にて議論されている中部横断自動車道（長坂～八千穂）の計画段階評価の試行に係る意見照会について（回答）

貴職におかれましては、日頃から北杜市行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成24年2月2日付け国関整甲計第19号において照会のありました、標記の件につきまして、別紙のとおり回答いたしますので、ご査収のほど、よろしくお願いいたします。



北杜市役所 道路河川課 計画担当
北杜市須玉町大豆生田 961-1
TEL 0551(42)1363

(別紙)

御意見頂きたい 内容	中部横断自動車道（長坂～八千穂）計画段階評価の試行内容 について
---------------	-------------------------------------

目標の中で重要と思うもの

- ・生活交通の円滑化、安全性向上：高速道路の整備により、現道における短距離移動車両（主に地元車両）と長距離移動車両（主に大型輸送車両）が通行目的により分別されることで、交通渋滞の緩和や交通事故の減少につながる。ただし、地元住民及び観光客の利用を考慮したインターチェンジの設置が重要である。
- ・主要な観光地間の連携向上：一部では、高速道路の整備によりストロー現象になると懸念されているが、現在の観光衰退は観光客のニーズ変化によるものであると考えられることから、今後は、多くの観光客のニーズに合った、観光関連業者等の意識改革が必要である。また、今まで遠距離のため訪れ難かった近畿や東北エリアからの集客も見込めるため、高速道路沿線にある多くの観光地が連携することにより、相乗効果による集客アップが見込まれる。
- ・生產品の輸送時間短縮：高速道路の整備により、このエリアの特産物（野菜類等）を太平洋側、日本海側へ迅速に輸送できるとともに、海沿いの新鮮な特產品が新鮮なうちに流通できる。
- ・災害時の代替路確保：東日本大震災の際に物流の早期再開を果たすことができたのも高速道路の存在が大きい。現在、物流の幹線となっている国道141号は急峻で狭隘な地域を通過しているため、地震に限らず大雨等による土砂災害により道路が寸断されることも予測されることから、代替路の確保は必要である。

対策案について

- ・環境や景観への負荷や建設費及び工期の短縮においてはメリットがある、旧清里有料道路の一部を活用する案が望ましいが、野生動物の横断や道路勾配の解消などの課題も存在する。そのため、あらゆる視点から検討した上で整備されることが必要である。
- ・掘下げ工法を活用し、環境や景観に配慮した対策を講じる必要がある。
- ・複数のインターチェンジの設置により、市内への誘導を促進する。

その他

・計画沿線は貴重な動植物の生息地であるとともに、多くの湧水群が点在しており、景観に優れたエリアであるため、十分な環境アセスメントを実施していただくとともに、景観にも配慮した事業推進をお願いしたい。また、自然環境に配慮し、景観と融合する、今後の高速道路建設におけるモデル的な路線となるような整備をお願いしたい。

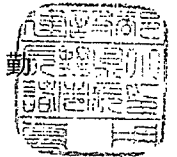


23 建第 1214 号

平成 24 年 2 月 17 日

国土交通省 関東地方整備局
長野国道事務所長 様

小諸市長 芹 澤



社会資本整備審議会道路文科会関東地方小委員会にて論議されている中部横断自動車道
(長坂～八千穂) の計画段階評価の試行に係る意見について (回答)

日頃、小諸市の道路整備行政にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成 24 年 2 月 3 日付、国関整長国調第 65 号で意見照会がありました件につきまして、
別添のとおり回答いたしますのでよろしくお願いいたします。

小諸市役所 建設部
建設課 建設係
担当：荻原 浩昭
電話：0267-22-1700 (内線 307)

(別紙)

御意見頂きたい 内容	中部横断自動車道（長坂～八千穂）計画段階評価の試行内 容について（第2回アンケート用紙参照）
<u>目標の中で重要と思うもの</u> ・ 生產品の輸送時間短縮 ・ 救急医療施設への移動時間短縮 ・ 災害時の代替路確保 <u>対策案について</u> <u>【案②】旧清里有料道路を一部区間で有効利用する案</u> <u>その他</u> ・ 全区間で新たに4車線道路整備することが理想であるが、早期に全区間を供用させることが地域の発展になると考えます。 ・ 道路は活力ある経済活動と、豊かな生活や文化を支える最も基本的かつ必要不可欠な社会資本であります。先の大震災の経験も踏まえ、被災時の緊急輸送を担う、真に必要な本道路が着実に整備されますよう要望します。	



平成24年2月22日

国土交通省 関東地方整備局
長野国道事務所長 様

佐久市長 柳田 清



中部横断自動車道（長坂～八千穂）の計画段階評価に係る
意見照会について（回答）

標記の件について、別紙のとおり回答します。

佐久市役所 建設部 高速交通課
（課長）北原郁生 （担当）橋本達也
TEL 0267-62-3439（直通）
FAX 0267-63-7750
E-mail kosokukotsu@city.saku.nagano.jp

(別紙)

御意見頂きたい 内容	中部横断自動車道（長坂～八千穂）計画段階評価の試行内 容について（第2回アンケート用紙参照）
<u>目標の中で重要と思うもの</u> ・災害時の代替路確保 ・企業誘致・雇用の促進 東日本大震災により、災害に対する日本人の意識は大きく変わった。 北関東自動車道と共に、「関東大環状連携軸」を形成する中部横断 自動車道の整備は、佐久地域と山梨県を結ぶ唯一の幹線道路である 国道141号の代替路確保や企業のリスク分散などの面において、 セーフティーネットの可能性を広げることになる。 <u>対策案について</u> 「全区間で新たに道路を整備する案」が基本となるが、工期の短縮や コスト削減の観点から「旧清里有料道路を一部区間で有効利用する 案」も選択肢の一つであると考えている。 <u>その他</u> 佐久市は、「更なる交流人口の創出」を図るため、中部横断自動車道 を中心に全ての「街づくり」を行っている。 高速交通ネットワークの形成は、佐久地域にとって将来の可能性を 大きく創出するものであり、一日も早い全線開通を強く要望する。	



23 小産建第 71 号
平成 24 年 2 月 日

国土交通省 関東地方整備局
長野国道事務所長 様

長野県南佐久郡小海町長
新井 寿一



社会資本整備審議会道路分科会関東地方小委員会にて議論されている中部横断自動車道(長坂～八千穂)の計画段階評価の試行に係る意見照会について(回答)

いつも大変お世話になっております。

平成 24 年 2 月 3 日付、国関整長国工第 65 号による社会資本整備審議会道路分科会関東地方小委員会にて議論されている中部横断自動車道(長坂～八千穂)の計画段階評価の試行に係る意見照会につきまして、別紙の通り回答させていただきます。宜しくお願い致します。

長野県小海町役場
産業建設課 建設係
(課長) 小山
(係長) 井出 (係) 中嶋
Tel.0267-92-2525
FAX.0267-92-4335

(別紙)

御意見頂きたい 内容	中部横断自動車道(長坂～八千穂)計画段階評価の試行内容について(第2回アンケート用紙参照)
<u>目標の中で重要と思うもの</u> 示された目標はどれも重要と考えるが、特に災害時の代替道路の確保、救急医療施設への搬送路の確保、移動時間の短縮、高原野菜等生產品の輸送時間の短縮が、最重要と思われる。特に、八千穂以南では代替路が無く、整備の必要性・重要性を強く感じる。 <u>対策案について</u> 基本的には、全区間で新たに整備する案を望む。高速道路と一般道路では、設計速度も違うので、切り離して考えるべき。急カーブ・急勾配・接道があり、安全面からも不安が残る。広域的な幹線道路網整備は、将来の交通量、ネットワークの形成の観点からも、十分な議論が必要である。 尚、一般道案で信号機及び交差点なしでの所要時間算出については、論外である。 <u>その他</u> 長坂～八千穂間については、特に整備の必要性を感じます。急峻な地形の中で、国道141号の1路線しか無く、災害や事故による通行止めが発生した場合の代替路としての機能確保、さらには地震等の広域的な大災害の場合、首都圏や中京・東海地方と、佐久地域を含む上信越地方や北陸地方を結ぶ、緊急避難路や救援物資の輸送路としての役割や、移動時間の短縮・円滑化による、観光及び企業誘致による雇用の促進、産業の発展の為にも重要な道路であると考えられる。	



平成24年2月23日

国土交通省 関東地方整備局
長野国道事務所長 様

川上村長 藤 原 忠 彦



社会資本整備審議会道路分化会関東地方小委員会にて議論されている
中部横断自動車道(長坂～八千穂)の計画段階評価の施行に係る意見
照会について

平成24年2月3日付け国関整長国調第65号で照会のありましたこのこ
とについて、別紙のとおり提出いたします。

産業建設課 村土整備係
電話:0267-97-2121
担当:篠原 正和
kensetsu@vill.kawakami.nagano.jp

目標の中で最も重要と思うもの

①生産品の輸送時間の短縮

本村の基幹産業は高原野菜の生産であり、高速交通の開通は販路等に大きな影響を及ぼすため。また、消費者にとっても新鮮な野菜が供給されることは大きなメリットだと考える。

②救急医療施設への移動時間の短縮

佐久総合病院まで68分かかる現状は、一刻でも早く解消することが本村の喫緊の課題のため。ドクターヘリの導入で飛躍的に患者輸送時間は短縮できたが、夜間や悪天候時は救急車搬送しか手段がないため。

⑥災害時の代替路線の確保

本国は自ずと知れた地震大国である。一部報道ではM7以上の直下型地震が4年以内に起こると言われている。東日本大震災でも道路の持つ重要性は誰もが改めて認識したと思う。この教訓は必ず活かすべきと思うため。

対策案について

案1 全区間で新たに道路を整備する案

高速交通の建設については規格通りに進めるべきと考える。ただし、当面は暫定2車線での供用でも仕方ないと思う。

通勤・通学・通院等いかなる場合でも通行不可となることは、この地域にとって、それは、“死”と同等の意味となる。この地域にとって、国道141に代わる道路の建設は住民の総意である。

その他

本路線の要望活動で“繋がってこそ”という言葉を使っているが、ミッシングリンクの解消をしなければ、国家繁栄どころか地域振興を図ることすらできないと考える。最近“造る”から“直す”に予算等がシフトしてきているが、真に必要なものは“造る”ことは、絶対に必要だと思う。国道141号線は急峻で狭隘な場所が多く、リダンダンシーの強化策として中部横断自動車道は、正にこれに当てはまり早期開通を切に願う。



平成24年2月10日

長野国道事務所長 様

長野県
南佐野郡
南牧村
南牧村長 菊池幸彦

中部横断自動車道（長坂～八千穂）の計画段階評価の試行に係る意見照会について（回答）

平成24年2月3日付け国関整長国調第65号で意見照会のありました件について、別紙のとおり回答します。

(別紙)

御意見頂きたい 内容	中部横断自動車道（長坂～八千穂）計画段階評価の試行内 容について（第２回アンケート用紙参照）
<u>目標の中で重要と思うもの</u> 当地は幹線道路が国道１４１号線１本しかなく、災害・事故等が発生した 場合、陸の孤島となりかねない。 救急救命を担う命の道であり、産業・文化の物流、災害時の代替道路など 設定されたすべての目標は地域住民の願いであり皆重要。 <u>対策案について</u> ③案は現況からして高速道の機能を確保することは困難。また、沿線住民 にも多大な支障を与える。 ②案も課題多い。 <u>その他</u> 全線開通は長年に亘って要望してきた地域住民の悲願です。 一日も早い着工を望みます。	



南振第797号
平成24年2月27日

国土交通省 関東地方整備局
長野国道事務所長 様

南相木村長 菊池毅彦



社会資本整備審議会道路分科会関東地方小委員会にて議論されている中部横断自動車道（長坂～八千穂）の計画段階評価の試行に係る意見照会について

平成24年2月3日付け国関整長国調第65号で照会のありました標記の件につきまして、別紙のとおり提出いたします。

南相木村役場

振興課

主査 中島武彦

TEL 0267-78-2121

FAX 0267-78-2139

(別紙)

御意見頂きたい 内容	中部横断自動車道(長坂～八千穂)計画段階の試行内 容について(第2回アンケート用紙参照)
<u>目標の中で重要と思うもの</u> 9項目全て大切な事であるが、その中でも「生產品の輸送時間短縮」、「救急医療施設への移動時間短縮」、「災害時の代替路確保」は特に我々過疎地域の住民にとっては生活に直接関わり、生命の安全にも直結する目標である。脳疾患の患者輸送には欠かせない道路となることは必然であり、佐久南IC付近に完成する佐久総合病院佐久医療センターとの時間短縮につながる。高原野菜生産者は、時間短縮により、より新鮮な物を消費者に届けられる。さらに、3.11災害でも高速道路が緊急輸送路として活躍したことは言うまでもない。 <u>対策案について</u> 全区間で新たに道路を整備するという案①に賛成。冬期間において案②、③は地球環境から困難と思われることと、災害時の緊急用道路としての活用になるとは考えられず、地域住民の生活の安全確保に不安をきたす事はできない。 <u>その他</u>	



意見書

第 419 号
平成 24 年 2 月 24 日

国土交通省 関東地方整備局
長野国道事務所長 様

北相木村長 井出 玄明



社会資本整備審議会道路分科会関東地方小委員会にて議論されている中部横断自動車道（長坂～八千穂）の計画段階評価の試行について、平成 24 年 2 月 3 日付け国関整長国調第 65 号で照会のありました意見については別紙のとおりです。

(別紙)

御意見頂きたい 内容	中部横断自動車道(長坂～八千穂)計画段階の試行内容について(第2回アンケート用紙参照)
<u>目標の中で重要と思うもの</u> 「課題を解決するための目標」の9項目全てが重要であるが、中でも、<u>生産品の輸送時間短縮・災害時の代替路確保・公共交通の利便性向上</u>の3項目については、我々過疎地域の住民生活にとって特に重要な役割を果たすものである。高原野菜がより新鮮なうちに消費者へ届けられたり、災害により道路が寸断した際には、緊急用道路として代替路が確保できたり、他県とのアクセス性の改善や公共交通の利便性が向上されたりと、中部横断自動車道の開通は、地域住民がより一層、安心・安全に暮らしていくために必要不可欠な高速道度である。 <u>対策案について</u> 【案①】の「全区間で新たに道路を整備する案」に賛成。冬の期間の道路事情や災害時の緊急用道路としての役割等から考えても、【案②】・【案③】共に周辺地域の課題を解決していくための「対策案」としては、不十分である。 <u>その他</u>	





23 佐久穂建第 1948 号

平成 24 年 2 月 24 日

国土交通省 関東地方整備局

長野国道事務所長 様

佐久穂町



中部横断自動車道（長坂～八千穂）の計画段階評価
の試行に係る意見について

平成 24 年 2 月 5 日付国関整長国調第 65 号で照会のありました意見について、別紙のとおり回答いたします。

佐久穂町役場 建設課
道水路係 高見沢
TEL : 0267-88-2525

(別紙)

御意見頂きたい 内容	中部横断自動車道（長坂～八千穂）計画段階評価の試行内 容について（第2回アンケート用紙参照）
<u>目標の中で重要と思うもの</u> すべて重要ですが、特に南佐久地域として下記の目標が最重要最優先と思います。 ①救急医療施設への移動時間短縮 ②災害時の代替路確保 ③生產品の輸送時間短縮	
<u>対策案について</u> 「案①全区間で新たに道路を整備する案」を要望しますが、事業費の削減による早期整備のため「案②旧清里有料道路を一部区間で有効利用する案」についても支持いたします。 「案③」及び「整備なし」は、災害時の代替路確保などの課題を解決するための目標になりえず、また国道141号沿線の住宅家屋が連檐している場所については、現実的に拡幅改良は不可能と思われます。	
<u>その他</u> 佐久南ICから仮称八千穂IC間の整備促進と、仮称八千穂ICから仮称長坂JCT間の、整備計画への格上げを強く要望します。 上信越自動車道と中央自動車道、さらに東名高速道路がつながることで、災害時の救急救命救助、復旧支援などの「命の道」としての機能を確保するため、早期完成を望みます。	